

令和 5 年12月15日

幕別町議会議長 寺林 俊幸 様

産業建設常任委員会委員長 田口 廣之

### 議員派遣結果報告書

令和 5 年 9 月21日に決定された議員派遣について、次のとおり報告する。

#### 記

- 1 派遣名 先進地視察調査（産業建設常任委員会）
- 2 目的 本委員会が所管する事項に関する先進地の取組の調査・研修のため。
- 3 派遣場所 当別町、ロイズカカオ&チョコレートタウン（当別町）、北海道立総合研究機構森林研究本部林業試験場（美唄市）
- 4 派遣期間 令和 5 年10月10日～11日（2日間）
- 5 派遣議員 委員長 田口 廣之  
委員 山端隆治 岡本眞利子 芳滝仁 中橋友子  
（以上 5 人）  
（藤原孟副委員長欠席）
- 6 派遣内容
  - (1) 【当別町】

視察項目	当別町ゼロカーボン推進計画について
視察目的	ゼロカーボン推進室設置までの経過と推進計画の概要。
応 対 者	・当別町議会 高谷 茂 議長 ・当別町議会事務局 熊谷 康弘 事務局長（進行） ・当別町経済部ゼロカーボン推進室（ゼロカーボン推進係、林政係、ドローン係） 吉野 裕宜 参与（説明員）
内 容	当別町において平成 28 年から計画がはじまった再生可能エネルギーへの取組について、ゼロカーボン推進室設置までの経過と推進計画の概要。当別町の再生可能エネルギーを活用した脱炭素への取組について教えを受けた。
所 感	寒冷地、特に冬の暖房エネルギー消費が多い北海道は、化石燃料から電力への大胆なエネルギー転換が必要と考える。 太陽光の活用と生活スタイルの見直しなど、環境省の重点対策加速化事業に認定される取組を早急に検討すべきと考える。



▲委員長挨拶（中：熊谷事務局長、右：高谷議長）



▲説明員：吉野参与



▲質疑応答



▲当別町議場

## （２）【ロイズカカオ&チョコレートタウン】

視察目的	当別町の誘致企業と経済効果についてを調査する。
視察概要	施設見学。
内 容	自然豊かな当別町に 2022 年 3 月リニューアルしロイズの生産拠点「ロイズタウン工場」に併設する直営店である。2023 年 8 月には体験型施設「ロイズカカオ&チョコレートタウン」がオープンして、環境にやさしい設備の導入、プラスチックの使用量削減、チョコレート原料の再利用など SDGs の取り組み等を調査。
所 感	ロイズの生産拠点であるチョコレート工場は、当別町太美と いう場所にあり、札幌市から 40 分という距離で、周りが畑や田園風景が続く長閑な風景が見られる。 「北海道の地で本場・ヨーロッパに負けないチョコレート

をつくりたい」という想いで創業したとのこと。カカオの産地や種類、そのブレンドで生み出される味わいは限りなく、また、色々な素材とマッチする柔軟性を持ち型に流しコーティングしたり、生地に練りこんだりと様々なつくり方をして開発・製造に取り組まれている。

2022年3月には地元当別町とロイズの連名での請願により、JR札沼線(学園都市線)の新駅としてロイズタウン駅がオープンしている。



▲施設内見学



▲施設内見学

(3) 【北海道立総合研究機構 森林研究本部 林業試験場 (美唄市)】

視察項目 ゼロカーボン (温室効果ガス削減) の取組、試験場施設見学。

視察目的 クリーンラッチの概要、普及・利用状況と「緑の情報館」「クリーンラッチ畑」を見学し、取り組みを研修する。

応 対 者 ・普及グループ 両瀬 潔 主幹 (進行)  
 ・普及グループ 東 浩之 主任

内 容 ・保護種苗部育種育苗グループ研究主幹 今 博計 博士  
 「クリーンラッチ」はカラマツとグイマツの交配によって北海道で生まれた樹木。ネズミの樹皮食害から守るため交雑育種を研究する中で、温室効果ガスの削減に高い効果を発揮する事、カラマツに比べ1.5倍以上の強度があることが判明したと説明を受けた。ハウスでの栽培、苗の試験圃場、資料館の「緑の情報館」を見学した。

所 感 今から100年前に長野県から北海道にカラマツの苗が渡

り、以来 60 年以上の研究でクリーンラーチが育ったと聞き感銘を受けました。将来カラマツ林の 3 割をクリーンラーチに植替え、住宅や高層ビルにも活用し、森でも街でも二酸化炭素を吸収できる環境を目指している事に、希望を頂いた。



▲委員長挨拶



▲座学研修



▲今 博士



▲クリーンラーチ苗圃



▲クリーンラーチ苗圃



▲クリーンラーチ育苗ハウス